

七夕飾りなど楽しむ とうや子ども共和国



子ども会ごとに七夕飾りを競う

八月七日、総合センター駐車場を会場に、第二十一回とうや子ども共和国が開催されました。

今年も地域の各団体の皆さんの協力により、夏休みの一日を大勢の小中学生や保育所児らが集い、楽しく過ごしました。



スーパーボールすくいに集まった子どもたち

当日は、青年らが集めた柳の木に、子ども会毎に子どもたちの願い事を記した短冊や色とりどりの紙などで七夕飾りをしました。

また、子どもたちは、共和国のお金の「レーク」をもらって流しひやむぎや焼きそば、綿あめ、ホットドッグなど好みの食べ物を買って食べ、射的などのゲームを楽しんで夏休みの一日を、友達とともに有意義に過ごしました。

八月に二度の大雨

前線通過の影響

八月二三日と、二十一日二十二日にかけて、総雨量が百ミリを越す大雨となり、村内各地で、被害がでました。

両日とも活発化した前線の影響により断続的に大雨が降り、二三日の総雨量は百十五ミリ、二十一日二十二日には百八五ミリ（気象情報シ

ステムM I C O S調べ）と、ほぼ豪雨といって良いほどの雨量となりました。

また、災害の少ない本村にとつて今回の被害は大きく、崖くずれ、土砂流出、路肩決壊などの土木被害が九件、農業被害が十七件にものぼりました。

これから台風季節となり、雨、風による災害の危険性が高くなりますが、気象情報等に留意され、降雨時には崖、河川等には近づかないなど、十分に注意していただきたいと思っています。

豪雨：一時間または三時間の少なくとも一方が警報基準を超え、かつ二十四時間の警報基準を超える大雨。



崩落した崖 土砂と木は川と道路をふさいだ